

日食勉強会報告（3月31日於工学院大学）

報告者： 足立 潔 史

日食情報センターでは来る7月11日のハワイ・メキシコ皆既日食に備えて、「皆既日食勉強会」を3月31日（日）工学院大学にて開催した。

開催案内は会員に葉書で連絡した他、「天文ガイド」にも掲載し会員外への呼びかけを行った。

当日は雨の中にもかかわらず全国各地から大勢のアマチュア天文家が集まり、150名定員の教室が座り切れず、補助椅子を追加したがまだ足りず、最後まで立ち席の方もいた程だった。日食観測常連のベテラン組から、今回初めて皆既日食観測に挑む初心者組まで、多彩な顔ぶれがそろい、今回のハワイ・メキシコ日食に対する関心の高さを伺わせた。当日会場で新たに日食情報センターへの入会手続きをされた新会員が約60名あった。また会場受付では、過去の日食時に発行された観測計画書、観測報告書の残部が参考資料として実費配布された。

当日のプログラムとして下記の内容が発表された。

日食ビデオ紹介	大 越 治
ハワイ・メキシコ日食概況	山 口 正 博
PCによるダイヤモンドリングのシュミレーション	塩 田 和 生
日食の写真撮影について	榊 原 幸 雄
極大期の超外部コロナについて	秦 茂
日食旅行事情	木 村 精 二
日食気象状況	大 越 治

ビデオ、スライド、OHP、PCディスプレイ等を駆使して詳細な資料説明、情報提供が行かれ、活発な質疑応答と会場からの補助資料提供などで、参加者全員の相互啓発を大いに盛り立てるものとなった。休憩時間にも勉強会の終了後にも、個別の話し合いの輪が広がり、アマチュア天文家の交流の場としても大いに役立った企画であったと思える。

次回は日食観測後の9月22日（日）に同じく工学院大学にて「ハワイ・メキシコ日食報告会」を開催する予定でいる。

各位の観測成果を持ち寄り、活発な交流の場として利用していただきたい。